

(2026年 沖縄県公立入試 類似)

1. 垂直分業 2. 貿易摩擦 3. 輸出超過 4. 輸入超過

(2023年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 開国以来続いていた不平等条約を改正し、関税自主権を完全に回復したことで貿易を有利に進めたため | 2. 日露戦争の勝利によって得た賠償金をもとに、政府が重化学工業への投資を積極的に行ったため | 3. 第一次世界大戦の影響でヨーロッパ諸国の生産が止まり、日本からアジア諸国への輸出が急増したため | 4. 世界恐慌の影響で物価が下落し、日本の安価な製品が欧米諸国で大量に購入されるようになったため |
|---|--|---|--|

(2024年 和歌山県公立入試 類似)

1. 被差別部落の人々が主体となり、自らの手で差別を撤廃し人間としての尊厳を勝ち取るため
2. 女性の政治的権利を認めさせ、新婦人協会と協力して参政権を獲得するため
3. 米の価格高騰に反対し、都市の労働者や主婦が生活を守るための暴動を指揮するため
4. 小作料の引き下げを求めて、地主に対して集団で交渉を行う小作争議を全国で展開するため

(2022年 大分県公立入試 類似)

1. ロシア革命は、名誉革命よりも前の時代に起こり、身分制を維持したまま国王の権限を強めることを目指した。
2. ロシア革命は、アメリカ独立戦争やフランス革命と同じ18世紀の出来事であり、人権宣言の影響を強く受けている。
3. ロシア革命は、17世紀のイギリスでの革命とは異なり、20世紀に発生し、世界で初めての社会主義国家を誕生させた。
4. ロシア革命は、18世紀に発生した絶対王政を打倒する市民革命の一つであり、資本主義経済を確立することが目的であった。

(2026年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 欧米諸国への輸出が完全に停止したため、国内向けの重化学工業製品のみを生産するようになった | 2. 生産総額が大きく伸びる中で、重化学工業が占める割合が12.5パーセントから18.3パーセントへと拡大した | 3. 工業化による労働力不足を補うため、政府は農業の生産総額を工業よりも優先させる政策をとった | 4. 重化学工業の発展にともない、それまで日本の輸出を支えていた繊維工業などの軽工業は衰退した |
|---|---|---|---|

(2024年 静岡県公立入試 類似)

1. 治安維持法 2. 国家総動員法 3. 教育勅語 4. 破壊活動防止法

(2026年 沖縄県公立入試 類似)

1. 短期間で急激に富を得た成金による、過剰で派手な贅沢ぶりを皮肉るため
2. 財閥の当主が、自らの権力を誇示するために貴族院での演説を準備している様子を表すため
3. 激しいインフレーションによって紙幣の価値が暴落し、燃料としてしか使えなくなったため
4. 戦争による電力不足が深刻化し、都市部でも灯りが一切使えなくなったため

(2022年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------|-------------------------|---------------------------|-----------------------|
| 1. 財閥の解体、および農地の解放 | 2. 政党政治の否定、および内閣総理大臣の暗殺 | 3. 不当な取引制限、および事業支配力の過度な集中 | 4. 国体の変革、および私有財産制度の否認 |
|-------------------|-------------------------|---------------------------|-----------------------|

(2026年 三重県公立入試 類似)

1. 民族自決 2. 門戶開放 3. 平和十原則 4. 主權在民

(2016年 秋田県公立入試 類似)

1. 平塚らいてう 2. 市川房枝 3. 与謝野晶子 4. 津田梅子

(2020年 東京都公立入試 類似)

1. 新書 2. 週刊誌 3. 文庫本 4. 円本

(2024年 宮崎県公立入試 類似)

1. 第二次世界大戦の勝利による軍需景気が発生し、国民の所得が大幅に増加したから。
2. 政府が国民の貯蓄を奨励するために、新しいデザインの紙幣を無償で配布したから。
3. 世界恐慌の影響で輸入が完全に停止し、国内の物資が過剰に余り、物価が急落したから。
4. ベルサイユ条約による賠償金支払いのために紙幣が乱発され、通貨の価値が著しく低下したから。

(2023年 秋田県公立入試 類似)

1. 核兵器が初めて実戦で使用され、多くの都市が壊滅的な被害を受けた。
2. 鉄砲や騎馬隊が主役となり、日本の長篠の戦いのように集団戦法が確立された。
3. 戦車や航空機、潜水艦などの新兵器が初めて本格的に投入され、国力を挙げて戦う総力戦となった。
4. 東南アジアの資源確保を目的として、日本がアメリカやイギリスなどの連合国と戦った。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 輸出超過	輸出額が輸入額を上回る状態を「輸出超過」または「貿易黒字」と呼びます。明治時代以降の日本は、近代化のための機械や原料の輸入が多く、慢性的な「輸入超過（貿易赤字）」の状態にありましたが、第一次世界大戦による特需によって劇的な黒字へと転換しました。
問2	答え 3 第一次世界大戦の影響でヨーロッパ諸国の生産が止まり、日本からアジア諸国への輸出が急増したため	第一次世界大戦が始まると、主戦場となったヨーロッパ諸国は生産能力を軍需に振り向けたため、アジア市場への輸出が途絶えました。これに代わって日本が綿布などの軽工業品や軍需品を大量に輸出し、輸出の急増が起きました。この好景気を大戦景気と呼び、日本は長年の債務国（借金のある国）から債権国（貸し付けのある国）へと転換しました。
問3	答え 1 被差別部落の人々が主体となり、自らの手で差別を撤廃し人間としての尊厳を勝ち取るため	全国水平社は、それまでの同情的な融和政策を批判し、差別されている人々が自らの意思と力で平等を勝ち取ることを目指しました。これは、当時の民主主義的な風潮（大正デモクラシー）や、自己決定を重んじる社会運動の広がり背景としています。
問4	答え 3 ロシア革命は、17世紀のイギリスでの革命とは異なり、20世紀に発生し、世界で初めての社会主義国家を誕生させた。	欧米の主要な市民革命は17世紀（イギリス）から18世紀（アメリカ・フランス）にかけて発生しましたが、ロシア革命はそれらから100年以上あとの1917年、つまり20世紀の出来事です。また、多くの市民革命が資本主義や自由主義の確立を目指したのに対し、ロシア革命は私有財産を否定する社会主義国家の建設を目指した点に大きな特徴があります。
問5	答え 2 生産総額が大きく伸びる中で、重化学工業が占める割合が12.5パーセントから18.3パーセントへと拡大した	第一次世界大戦による「大戦景気」の影響で、日本の工業生産額はわずか5年ほどの間に4倍近くまで急増しました。この際、従来の繊維工業（軽工業）も成長を続けていましたが、それ以上に鉄鋼業や造船業、化学工業といった重化学工業の成長が著しく、産業構造の重化学工業化が進みました。統計上でも、工業全体に占める重化学工業の割合が1割強から2割弱へと明確に上昇していることが読み取れます。
問6	答え 1 治安維持法	1925年に加藤高明内閣のもとで、満25歳以上の男子に選挙権を与える普通選挙法が成立しました。しかし、選挙権の拡大によって労働運動や社会主義運動の影響力が増すことを恐れた政府は、天皇を中心とする国の仕組み（国体）を否定する動きや、私有財産を否定する結社を処罰対象とするこの法律を同時に制定しました。これは国民の権利を広げる一方で、政府に批判的な動きを抑圧する「アメとムチ」の政策として知られています。
問7	答え 1 短期間で急激に富を得た成金による、過剰で派手な贅沢ぶりを皮肉るため	和田邦坊によって描かれたこの風刺画は、第一次世界大戦中に急増した「成金」の姿を象徴しています。当時の百円札は現在の価値に換算すると数十万円にも相当する非常に高額なものでしたが、それを燃やして「どうだ明るくなったろう」と言う場面を描くことで、成金たちの節操のない贅沢や成金趣味を鋭く批判しています。
問8	答え 4 国体の変革、および私有財産制度の否認	治安維持法の条文では、その目的が「国体（天皇を中心とした国のあり方）を変革すること」と「私有財産制度を否認すること」を目的とする結社を組織した者、あるいはそれに加わった者を処罰すると規定されていました。これは、天皇制を否定し、社会主義的な社会を目指す動きを法的に排除しようとしたものです。選択肢にある「財閥解体」や「不当な取引制限」などは、戦後の改革（独占禁止法など）の内容であるため混同しないよう注意が必要です。
問9	答え 1 民族自決	アメリカのウィルソン大統領は、第一次世界大戦の講和原則（十四か条）の中で、各民族の政治的運命は自らの意志によって決定されるべきであるという「民族自決」を提唱しました。これが日本の植民地支配下にあった朝鮮の人々を勇気づけ、独立に向けた具体的な行動へとつながりました。
問10	答え 1 平塚らいてう	1910年代から20年代にかけて、文学活動や政治活動を通じて女性の自立を訴える動きが広がりました。平塚らいてうは『青鞥』の発刊や新婦人協会の設立などを通じて、女性の地位向上や選挙権獲得に向けた運動を牽引しました。
問11	答え 4 円本	改造社が『現代日本文学全集』を1冊1円という当時としては画期的な低価格で予約販売したところ、爆発的な人気を博しました。これに他社も追随し、低価格な全集が次々と出版されたため、これらは総称して「円本（えんぼん）」と呼ばれました。これにより、それまで高価だった書籍が大衆の手へと渡るようになりました。
問12	答え 4 ベルサイユ条約による賠償金支払いのために紙幣が乱発され、通貨の価値が著しく低下したから。	敗戦国となったドイツは、ベルサイユ条約によって課された膨大な賠償金を賄うため、裏付けのない紙幣を次々と印刷しました。その結果、貨幣の価値が極端に低くなり、生活に必要な物資を購入するためにリヤカー一杯の札束が必要になるほどの物価上昇が起きました。子供が札束を玩具代わりにする光景は、その経済破綻の深刻さを象徴しています。
問13	答え 3 戦車や航空機、潜水艦などの新兵器が初めて本格的に投入され、国力を挙げて戦う総力戦となった。	20世紀初頭に起きたこの戦争は第一次世界大戦を指します。この大戦の大きな特徴は、工業化の進展に伴い、戦車、航空機、毒ガス、潜水艦といった強力な新兵器が次々と投入されたことです。また、戦場での戦いだけでなく、国民全体の労働や経済活動を戦争に動員する「総力戦」の形態がとられました。1910年代の技術革新は、戦争のあり方や、その後のラジオ放送といった生活文化にも大きな影響を与えました。